

富山大学生が、 月岡の地域資源の 活用策を探る

都市デザイン学部
SCHOOL OF SUSTAINABLE DESIGN

10月16日(月)富山大学都市デザイン学部の3年生2チーム11名が、月岡の地域資源の活用策を探るため、月岡を訪れました。

これは、都市デザイン学部3年生の後期授業の一つで、今年は11のテーマに分かれて、県内各地に入り、取り組んでいるもの。

昨年、1チーム8名が取り組み、「田んぼアート」「新しい町歩きマップ」の2案を企画し、今年は、そのうち「田んぼアート」の具体化を図ることを目的として取り組んでいます。

12月18日の大学内での発表会まで、毎週月曜日の午後、大学内での検討や、月岡でのフィールドワークが続きます。大学生のアイデアを活かすように、自治振興会も共に考えていきます。



(学生たちによる打ち合わせ風景:地区センター研修室)